



THE REPORT OF THE MIE DENTAL ASSOCIATION

三 重 県 歯 科 医 師 会 報



- ◆第22回臨時代議員会
- ◆21年度第1回郡市会長会議
- ◆21年度第1回理事会／第2回理事会

◆20年度食と健康フォーラム
「ミールラウンドにおける職種ならではの気づきと介入」



公益社団法人
三重県歯科医師会
<http://www.dental-mie.or.jp/>

2021
6 7
No. 710

三重とこわか国体・三重とこわか大会の候補選手を対象としたスポーツ歯科健診実施へ	1
2020年度食と健康フォーラム	2
第22回臨時代議員会	
(大杉会長に当選証書／21年度予算等を承認)	8
2021年度事業計画	11
2021年度第1回理事会	
(「みえ歯と口腔の健康づくり条例」改正を報告)	16
2021年度第1回郡市会長会議	
(新型コロナウイルス感染症の影響続く)	18
2021年度第2回理事会	
(三重県歯科保健大会、今年度の鈴鹿開催断念)	22
医療管理 (税務署等窓口における押印の廃止について)	24
4月・5月会務日誌	
会員消息／新入会員プロフィール	25
会員消息／新入会員プロフィール	26
告知板	
・愛知学院大学歯学部同窓会ポストグラデュエートコース (PGC) (女性企画委員会コラボ講演会のご案内)	28
・第43回三重県歯科医師会ゴルフ大会開催のご案内	
互助会の現況	30
国保組合の現況	31
編集後記	32

三重とこわか国体・三重とこわか大会の候補選手を対象としたスポーツ歯科健診実施へ



三重県歯科医師会は、三重とこわか国体・三重とこわか大会の候補選手ら約700名を対象とした「スポーツ歯科健診事業」を実施することを決めた。事業の実施に先立ち、4月12日(月)に三重県庁で同事業に係る贈呈式が開かれ、三重県からは鈴木英敬知事、国体・全国障害者スポーツ大会局の辻日出夫局長、子ども・福祉部の中山恵理子部長が、県歯からは大杉会長、稻本専務理事、福森常務理事が出席した。大杉会長がスポーツ歯科健診の目的等について報告した後、受診券等の目録を鈴木知事に贈呈、鈴木知事からは三重県歯に対して感謝状が贈られた。

この事業は、三重とこわか国体・三重とこわか大会への出場を目指す候補選手が安心・安全にスポーツを行うことを支援し、スポーツに伴う歯と口の外傷予防、競技者の栄養補給と体力づくり等を通じて、パフォーマンスの発揮に寄与するとともに、歯と口の健康に係る意識の向上に資することを目的としたもの。健診期間は6月1日(火)から9月18日(土)までで、県内104か所の「スポーツ歯科健診事業」協力歯科診療所において無料で実施される。

協力歯科診療所は、三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて2017年から取組みを開始した「三重スポーツデンティスト」事業による所定の研修等を受講し、「三重県歯公認スポーツデンティスト」の認定を受けた会員（日本スポーツ協会公認スポーツデンティストを含む）の歯科診療所。三重県歯公認スポーツデンティストは健診事業だけでなく、各種競技会場での救護班としても三重とこわか国体・三重とこわか大会に協力する。

2020年度 食と健康フォーラム

2021年3月4日(木)～11日(木)

YouTube配信

20年度の「食と健康フォーラム」は「ミールラウンドにおける職種ならではの気づきと介入」をテーマに企画され、新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止に配慮して、YouTubeでの配信という形で開催された。視聴申込者は、歯科衛生士65名、管理栄養士及び栄養士44名、歯科医師42名等、計192名で、視聴回数は498回に達した。最初に「健康長寿を支える食べる機能」と題して、藤田医科大学医学部七栗記念病院歯科講師の金森大輔氏が講演。高齢で脳血管疾患になっても健康に食べ続けるためには何が必要かを、画像を含めた検査の詳細を紹介して説明。次に、歯科衛生士・介護支援専門員・看護師・管理栄養士・言語聴覚士が、それぞれの立場から事例発表を行い、最後に三重県歯・福森常務理事を座長に、発表者全員で意見交換が行われた。摂食嚥下障害に対し、様々な専門職が何を診て、どのように評価し、対応しているのかを知ることのできる貴重な機会となった。

(理事・山本英志 記)

健康長寿を支える食べる機能

藤田医科大学医学部七栗記念病院歯科 金森大輔講師

超高齢社会と世界の動向

1950年には世界の人口は約25億人だったが、2020年には約78億人まで増加し、さらに2050年には93億人に達すると予想されている。平均寿命も1950年には約46歳だったが、2019年には約73歳となり、高齢化が進んでいる。国連は、人口増加等の影響によって貧困や飢餓が引き起こされることを防ぐために、17の持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）を設けている。

先進国の死亡原因は、循環器疾患・がん・糖尿病等の非感染性疾患(NCDs: Non-Communicable Diseases)が多く、今後はより保健医療が重要になると考えられている。長寿を達成するために心掛けるべきものとして、米国・カリフォルニア大学のブレスロー教授が、1980年に生活習慣と身体的健康度（障害・疾病・症状等）との関係を調査

した結果に基づいて提唱した、適切な睡眠や朝食を摂ること等を含む「7つの健康習慣」がよく知られている。

全身疾患にも口腔疾患にも共通するリスク因子（コモンリスクファクター）としては、喫煙・飲酒・ストレス・食生活が挙げられ、最近では口腔環境も全身疾患に対するリスク因子と考えられるようになった。口腔環境が悪いと、う蝕・歯周病・口腔がんだけでなく、全身のがんや糖尿病になりやすく、良質な栄養摂取ができないことにより循環器疾患も引き起こすため、口腔環境の改善はQOLの向上につながると考えられる。WHOの口腔保健行動目標には11項目が掲げられているが、健康的な食習慣と栄養摂取の確立により低栄養を改善すること、高齢者のQOL向上に資する口腔保健の推進が特に重要である。

日本は2019年時点で、65歳以上の人口が全体の28.4%に達し、高齢化率は世界一である。18年の

調査では、死因の1位はがんで、2位が心疾患、3位が老衰、4位が脳血管疾患だった。がん罹患率は年々上昇しているが、5年生存率も上昇しており、がんになっても生きられる時代になっている。がん対策推進基本計画には、医科歯科連携による口腔ケアの推進や食事療法等による栄養管理が含まれている。後期高齢者の31%は要介護者であり、要介護となる原因は1位が認知症、2位が脳血管疾患、3位が骨折・転倒である。Multimorbidity(多疾患を抱え、どの治療を優先するのか難しい状態)や口腔機能低下も多く見られる。平均寿命と健康寿命に10年近い差があることから、健康日本21(第2次)では、栄養状態・食物摂取・食行動及び食環境の改善による健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指している。

■ 口腔機能の変化

口腔機能の低下は、医療・介護をあまり必要としない加齢による生理学的変化、口腔疾患(歯の喪失等)や全身疾患(脳卒中等)を原因として生じる。加齢による影響は、各臓器によって異なり、個人差も大きい。各臓器の機能低下があっても互いに補い合って日常生活に支障のない状態が維持されていることが多い。

18年の診療報酬改定で「口腔機能低下症」という病名が保険導入されたことにより、歯科が介入できるようになった。口腔不潔に関しては、舌苔の付着度(Tongue Coating Index)で評価するが、口腔衛生指導を行っても、口腔機能の向上がないと改善は困難である。咬合力低下は、咬合圧検査(感圧フィルムを用いる。約20kg未満で低下)や残存歯数(残根と動搖度3の歯を除く歯数が20本未満で低下とする)で評価する。咬合力が低下すると肉類の摂取が困難になる。緑黄色野菜や食物繊維等は軟らかく煮ることにより摂取できるようになる。穀類は軟らかくすることが容易なので摂取量が増加する傾向がある。口腔乾燥は、口腔内水分計(ムーカス[®])とサクソンテスト(2分間、乾燥ガーゼを咀嚼し唾液重量を測定)で判断する。舌口唇運動機能低下の評価には、オーラル

ディアドコキネシス(5秒間にパ・タ・カを素早く発声)と発語器官運動の巧緻性評価(開口したまま舌尖を素早く動かして首が動かないかを診る)を用いる。低舌圧は、舌圧測定器や舌トレーニング用具「ペコパンダ」で測定する。咀嚼機能低下は、グミゼリー咀嚼後のグルコース濃度の計測や視覚的評価(食片の大きさ)で評価する。嚥下機能低下は、嚥下スクリーニング質問用紙(EAT-10)、反復唾液嚥下テスト(RSST:30秒間の嚥下回数)、改訂水飲みテスト(MWST:冷水3mlを嚥下し、むせ・呼吸・湿性嘔声を診る)で評価する。

嚥下内視鏡検査(VE)では、▽軟口蓋の挙上▽上・中咽頭がはっきり分かれているか▽声帯の動き▽息止めができるか▽食物残渣の状態等を診る。液体はすぐに嚥下反射が起こり、ホワイトアウトで見えなくなるが、固体は咀嚼後、舌により口峡から喉頭蓋谷まで運ばれて(Stage II transport)、食塊形成のうえ、嚥下される。球麻痺は延髄の障害で、カーテン兆候(軟口蓋の挙上が健側のみ可能なため、発声させると咽頭後壁が健側にカーテンを引かれるように見える)が認められる。仮性球麻痺は、大脳等の延髄より上部の障害で、球麻痺より症状が改善しやすい。延髄の障害で起こるワレンベルグ症候群で嚥下障害が改善しない場合、6~12か月で手術を検討する。嚥下障害がある期間は、経静脈栄養法、間欠的口腔食道栄養法(IOE:食事時のみ口腔や鼻腔から管を入れる)、胃瘻(PEG)等で栄養摂取する。

嚥下造影検査(VF)は、嚥下時に気管への誤嚥があってもむせない症例等の診断に有効である。経静脈栄養や経管栄養から食事摂取へ移行する場合は、食べ物を用いない間接訓練、食べ物を用いる直接訓練や、DSS判定プロトコール(とろみ水や食物で評価)を通して評価していく。

厚労省の調査によると、日本では歯周病またはう蝕の患者数は、高血圧に続き2番目に多いが、歯科外来受診者数は70歳頃をピークに年齢とともに減少しており、訴えはあるが受診できていない状態にあると考えられる。海外と比較すると、

日本の高齢者は周囲との交流がやや希薄であることから、ソーシャルキャピタル（人々の協調行動を活発化することにより社会の効率性が高まるという考え方）の熟成が必要であると考えられる。高齢者施設での一番の楽しみは食事であり、話すというコミュニケーションにおいても歯科は重要である。どのような食品が体に良いかは、アメリカや日本の農林水産省の「Choose My Plate」や「食事バランスガイド」が参考になる。些細なトラブルで噛みにくくなった時に、軟らかく食べやすい物を提供してしまうと、さらに咀嚼機能が低下し、食べられる食品が減り、食欲も減少していくので、歯科治療や機能訓練で対処する。オーラルフレイル（滑舌低下、むせと食べこぼし、噛めない食品の増加）から口腔機能低下症（一般歯科で診断可能）や口腔機能障害に進行し、全身のフレイル（介護が必要な状態）や死に至る。オーラルリテラシー（口腔に対する意識）の低下は、口腔不潔による誤嚥性肺炎や、糖質の過剰摂取による

糖尿病を招く恐れがある。

■ 生活の場で診る食べる機能

食べることは水分や栄養を確保し、人間らしく生きるために最低限必要な生理的欲求であり、団欒、ストレス発散、精神的支柱でもある。老健・特養入所者の6割は摂食嚥下能力に何らかの問題を抱えているが、外からは発見しにくく、生活の場に原因があることが多い。ミールラウンドとは食事場面で、検査では分からぬ「姿勢・食べ物・食べ方」等を多職種で観察し、問題を検討する取組みである。

食べることに集中させるには、▽テレビ・ラジオを消す▽痛みや疲労のない姿勢▽話しかけない・急がせない・笑わせない等に留意する。食後は、逆流防止と消化促進のために安静位を保持し、誤嚥性肺炎予防（微熱でも予測可能）のため口腔清掃を行い、咽頭残留がある場合は吸引も行う。

【事例発表1～歯科衛生士の視点から～】 口腔内のチェックすべきところ

藤田医科大学医学部七栗記念病院歯科 坂口貴代美歯科衛生士

三重県内の歯科衛生士がいる病院14か所に聞き取りを行ったところ、ミールラウンドに歯科衛生士が関わっているのは1病院だけだった。関わっている理由としては「NSTに参加している」「摂食機能療法を算定している」が挙げられ、関わっていない理由については「言語聴覚士や看護師が主体となっている」「歯科衛生士は病棟との関わりがない」等の回答があった。

当院での歯科衛生士の役割は、▽全病棟の患者に対する入院時歯科検診での口腔内評価▽多職種と連携したリハビリ訓練前の口腔衛生管理▽自立・在宅へ向けての口腔内状態の改善等である。口腔外では、▽経口摂取か経管栄養か経静脈栄養か▽口腔内のセルフケアの可否▽意思の疎通の可否▽開口支持・姿勢の保持の可否等を、口腔内

では、脳卒中発作前後の義歯使用状況の変化や残存歯の状態、舌や粘膜の状態等を確認している。

【事例】49歳男性、脳梗塞発症から68日後当院に転院。片麻痺・嚥下障害・気管切開がある状態で、とろみ食ややわらか食と経鼻経管栄養を併用していた患者に対して歯科的介入を行った。内容は、①下顎動搖歯の抜歯 ②上下顎義歯作製 ③口腔衛生指導 ④自助具（義歯ブラシを洗面台に固定する器具）を用いた義歯清掃指導等。退院時には、気管切開部は閉鎖し、発話可能・杖歩行・常食になった。

全ての職種が口腔に関心を持って欲しい。患者をできるだけ病前の状態に戻し、自立した生活が送れるよう関わっていきたいと考えている。

【事例発表 2～介護支援専門員の立場から～】

介護老人保健施設における食支援

介護老人保健施設鈴の丘 小川竜司介護支援専門員（三重県介護支援専門員協会副会長）

介護老人保健施設（老健）は、医療・看護・介護・リハビリテーション・栄養まで、様々な専門職が協働し、要支援・要介護状態の入所者が早期に在宅復帰できるようにする施設であるとともに、居宅者を支援するための施設でもある。リハビリテーション（専門職が行うものと、生活に関するものに分けられる）により、認知症や脳卒中等の病気や老衰が原因で「できなくなったこと」を「できるようにする」ことを目的にしており、食事が摂取困難になった場合もこれに含まれる。「鈴の丘」は定員100名の老健で、クリニック・デイケア・サービス付き高齢者向け住宅も併設する。

ミールラウンドの対象者（と時期）は、新規入所者全員（入所後1週間以内に）、経口維持加算算定入所者（中・低栄養の摂食機能低下者）（月1回）、それ以外の入所者（3か月に1回）、ショートステイ利用者（利用中に1回）であり、医師、管理栄養士・看護師・介護福祉士・言語聴覚士・理学療法士または作業療法士・薬剤師・施設介護支援専門員が行う。

施設介護支援専門員にとってミールラウンドは、多職種が同時に行った評価をその場で情報収集でき、的確な問題点を施設サービス計画書に記載し、

それにより施設職員に統一した介助指導ができるメリットがある。また、施設退所後に安全な食事を摂取するために、▽今後の住環境▽主介護者の調理や介助能力▽福祉用具・自助具の必要性▽居宅サービスの受け入れー等を考える場にもなる。ミールラウンド後は早期に、主介護者と面談し、居宅介護支援事業所のケアマネジャーとも連携する。退所後に誤嚥性肺炎を起こすことが多かったため、全国国民健康保険診療施設協議会「在宅栄養ケアハンドブック」の食事観察シートを連携に活用している。このシートは、当てはまる項目にチェックを付けると、その隣に対応方法が分かりやすく記載されている点で優れている。

施設介護支援専門員の弱点として、口腔内アセスメントが挙げられる。口腔内を見せてもらうことは難しく（特に認知症患者）、高齢者は痛みがなければ訴えもないため、咀嚼・嚥下に関して食事摂取量でまとめて評価してしまう。その結果として歯科医師等との連携が弱くなっていることが課題であると考えている。在宅で口から食べる楽しみを支援するために、居宅介護支援事業所のケアマネジャーに、老健に任せれば安心と思ってもらえるよう、連携の強化に努めていきたい。

【事例発表 3～看護師の立場から～】

急性期病院における食支援

鈴鹿中央総合病院 北川晶子老人看護専門看護師（摂食・嚥下障害看護認定看護師）

私は「食べる」ことへの執着が強く、休職して摂食・嚥下障害看護認定看護師資格を取り、仕事に復帰後、大学院を修了し、資格審査を受けて老人看護専門看護師資格を取得した。当院は一般病床数460床、緩和病棟病床数20床、平均在院日数13.7日の急性期病院で、私はSST（摂食・嚥下

サポートチーム）のチーフとして活動している。2019年度のSSTの介入状況は、依頼件数587件（脳血管疾患32%、呼吸器疾患25%）、平均年齢74歳で、呼吸器外科の手術後合併症を予防するため手術前後に摂食・嚥下評価、食形態の調整を行っている。当院SSTは歯科衛生士を含む多職種か

らなり、週1回七栗記念病院からリハビリ医が評価に訪れ、必要時にはNST、DST（認知症ケアチーム）、MSW（医療ソーシャルワーカー）も介入する。SSTコアスタッフは担当病棟を決め、▽初期評価▽訓練内容の立案▽食形態の選定▽水分粘度の調整▽摂食方法の指導▽食事介助方法の指導▽口腔ケア・義歯確認▽訓練内容の見直し▽退院支援－等を行う。

看護師の役割は、▽患者・家族の食に対する思いを他職種にも情報提供する▽経口摂取量や水分量から低栄養や脱水の早期発見につなげる▽食事時のむせや声質・呼吸変化から合併症の予防につなげる▽食形態変更の提案▽生活習慣や好み等を考慮した生活支援－等であると考える。

入院時に全患者に栄養スクリーニングとサルコペニアリスクを評価しているが、主治医から依頼があった患者にはSSTが訓練内容を立案し、日々

の訓練は病棟の看護師が中心となる。転院時には看護サマリーで摂食状況を、栄養サマリーで栄養状況を情報提供する。急性期病院・回復期病院・在宅（維持期）と場所が変わっても、一貫した診療計画でケアが継続される地域連携パスの運用も行っている。

【事例】60代男性。脳出血で右側顔面・上肢麻痺があるが意識障害はなし。改訂水飲みテストで咽頭収縮が弱く、誤嚥のリスクが高かったため、入院1日目から食べ物を用いない間接訓練を開始。NSTとMSWも介入し、入院4日目よりIOE開始。食事形態を変更するとともにIOEも終了し、退院時には地域連携パスも運用した。

入院早期から介入し、食べられる可能性を高く維持するよう努めるとともに、阻害因子を増やさず、個々の特性に応じて、スプーン一杯に愛情を込めた介入を心掛けている。

【事例発表4～管理栄養士の立場から～】

在宅療養者の食べる支援

認定栄養ケア・ステーションみえ中勢 千歳泰子在宅栄養専門管理栄養士

私は、外来で栄養指導や生活習慣病予防のための特定保健指導の他、訪問で在宅療養者の栄養指導や栄養相談を行っている。訪問栄養指導とは、通院困難な在宅療養者が高血圧・糖尿病等に対応した特別食が必要な場合や、嚥下困難や低栄養状態にある場合に、主治医の指示の下で管理栄養士が居宅を訪問し、栄養状態の評価・情報提供・栄養食事相談を行うものである。訪問時には、栄養状態・身体の機能・食事摂取・排泄－等を確認する。栄養の評価は、身長・体重（車イス時に測定）・BMI・体重減少率・上腕周囲長・下腿周囲長（筋肉量）・腹囲・握力（筋力）・MNA-short form（多職種でも共有しやすい簡易栄養状態評価表）－等を用いる。MNA-short formを用いた調査で、要支援・要介護者の81%は低栄養か低栄養の恐れがあり、68%は噛む力の低下が見られた。

在宅で管理栄養士ができるることは、食べるため

の提案をして多職種と連携し、重症化を予防、入院を回避することで、療養者のQOLを向上させることである。多職種が常勤する病院や施設と異なり、在宅では管理栄養士といえども口腔乾燥や舌・義歯等、口腔機能を評価する必要がある。そして療養者が実際の食事を咀嚼し、食塊が形成され嚥下できているか、食事にかかる時間、むせや咳、湿性嘔声、呼吸数、SpO2等を診る。食事の聞き取りでは、食欲の有無、美味しい感じるか、食品の種類、エネルギー・タンパク質・水分の摂取量を評価する。フレイル予防の10食品群チェックシートで、毎日7品目以上摂取できればフレイルになりにくいと言われているが、噛めない人は、加熱すると硬くなる肉・魚や野菜の食物繊維が摂取しにくく、偏りが出る。便の評価はブリストルスケールを用いる。食品が偏ると便が硬くなり、便秘で食欲がなくなる。咀嚼できずに飲み込んで

いると不消化で水様便になる。

【事例①】誤嚥性肺炎で入院し、退院後も胃瘻から栄養摂取していた在宅療養者。まず歯科が介入し、口腔機能が高まった時点で訪問栄養指導となつた。最も難易度の低いコード0Jに当たる100kcalの黒糖ゼリーから始めて徐々に食形態を上げ、患者本人が希望していた冷やし中華を食べ

られるまで回復した。

【事例②】誤嚥性肺炎で入院し、退院時はペースト食であったが、退院3日後に訪問すると、もっと難易度の高い食事を摂取していた。食塊形成や嚥下に問題がなかったため、3回の訪問で終了した。噛んで食べると美味しいとのことだった。

【事例発表5～言語聴覚士における食事評価の視点～】

多職種視点によるミールラウンド

花の丘病院リハビリテーション科 朝倉敬博言語聴覚士

当院は病床数96床、回復期病棟と療養病棟のミックス型の病院で、老健施設も併設している。

加齢・疾病・外傷・生活環境の変化等で摂食障害がある高齢者は、楽しみを奪われた状態にある。専門職による判断には、食事場面の観察が必要である。ミールラウンドとは、「多職種が、認知機能や摂食嚥下機能の低下を伴う患者または施設入所者に対し、食事環境、食事姿勢、食事介助の方法、食事摂取量等を観察し経口摂取の維持支援の充実を図る」ことである。ミールラウンドを行う際には、対象者・方法・タイミング（行う時期）・その後のアプローチ等を決めておく必要がある。食事前には、▽全身疾患や主訴▽加齢による機能低下▽理解力や意欲の低下▽体の抵抗力低下▽栄養不良・脱水▽円背や頸部伸展位（顎が上がった状態）（ともに誤嚥しやすい）の有無▽上肢機能（食べ物を上手く口に運べるか）一等を診ておく。食事中には、▽食べ物を認識できているか▽食器が合っているか▽特定の食品で回避やむせがないか▽口からのこぼれがないか（口唇閉鎖・協調性・感覚機能の確認）▽咀嚼状態▽嚥下時間は遅くないか▽むせの頻度・時期（食事の序盤か終盤か）▽湿性嘔声▽一口量▽食事にかかる時間一等を診る。食事後の症状として、▽誤嚥があった▽肺炎（発熱）を繰り返す▽むせや咳が多い▽嘔声がある▽脱水・低栄養▽拒食がある▽食事に時間がかかる

▽夜間にせき込む一等の症状があれば、食事形態の変更や摂食方法の検討を行う。

むせる場合は、嚥下機能低下や食事環境・摂食動作の不適が原因であるため、食形態や一口量の調節・訓練を行う。食べこぼす場合は、食事環境・摂食動作の不適や口唇閉鎖不全が原因であるため、食事環境や食形態調整、訓練を行う。食べ物の溜め込みがある場合は、嚥下機能低下や認知機能低下が原因であるため食形態調整・義歯調整・咀嚼訓練を行う。

主な検査法には(1)スクリーニング検査として、①質問紙法：聖隸式嚥下質問紙（嚥下障害を9割程度検出できる）とEAT-10等 ②実測法：RSST、MWST、フードテスト（4gのプリンを食べてむせ等を評価）等一があり、(2)精密検査としてはVF・VE等がある。質問紙法は簡便で、それを参考にミールラウンドチェック表を作ると効果が判定しやすい。

当院では入院時にミールラウンドを実施し、カンファレンスで次回のミールラウンドの時期を決定。栄養プロジェクトチーム（NSTの前身）では症例ミーティングを行い、退院時には言語聴覚士が嚥下状態や食事形態を、管理栄養士が現在の栄養状態や食事の作り方を説明する。多職種視点による専門的アプローチだけでなく、包括的視点が必要と考えられる。

第22回臨時代議員会

2021年3月21日（日）

三重県歯科医師会館

大杉会長に当選証書／21年度予算等を承認



予備選挙で当選が決まった現職の大杉会長に当選証書を手渡した。大杉会長は、コロナ禍において地域歯科医療の提供に尽力している会員への謝意を表したうえで、今後も全力でバックアップしていく意向を示した。会長報告では、日歯会長予備選挙での堀会長の当選や日学歯の公益社団法人への移行認定、第114回歯科医師国家試験の結果等について詳しく紹介。議事では21年度事業計画や予算案等、7つの議案が全て可決承認された。

会長報告

日歯及び日学歯の次期会長予備選挙結果

日歯の次期会長予備選挙では、現職の堀 憲郎会長が、選挙権者総数637名、投票総数612票中、601票を得て4選を果たした。日本学校歯科医会でも現職の川本 強氏が再選されている。

日学歯が公益社団法人に移行

日学歯（日本学校歯科医会）が3月5日付で公益認定の基準に適合すると認定された。4月1日(木)より公益社団法人に移行する。

日歯：第194回臨時代議員会

3月12日(金)に第194回臨時代議員会が開かれた。新型コロナウイルス感染拡大防止のために会期を1日に短縮して開催され、21年度の事業計画や収支予算等の5議案が議決された。三重県選出の代議員（大杉会長・稻本専務理事）

3月21日(日)、第22回臨時代議員会が開かれた。この日を以て首都圏の緊急事態宣言が解除されることが決まっていたが、三重県内でも変異ウイルスへの感染が確認される等、引き続き警戒が求められる状況下、出席者への検温や手指消毒を徹底し、会場の換気等にも十分配慮したうえ、時間短縮を図っての開催となった。議事に先立って議事運営特別委員会と選挙管理委員会からそれぞれ報告があり、選挙管理委員会の中西委員長が、会長

は書面による議決権行使した。事業計画では、「2040年を見据えた歯科ビジョン」に示された2040年に向けて取り組むべきアクションも視野に入れた事業計画の設定を基本方針とし、具体的には、▽介護予防、フレイル・オーラルフレイル対策における「口腔健康管理」の推進▽歯科界の活性化に向けた新技術等の研究開発の支援及び保険収載の推進▽歯科保健医療におけるICTの普及促進▽災害時の歯科保健医療提供体制の整備及び警察歯科の充実一等が掲げられている。代議員質問は、6地区からの代表事前質問に対して書面回答があった。

21年度歯科保健医療関係予算案

3月2日(火)に国の21年度予算案が衆議院本会議を通過した。歯科保健医療関係予算につ

いては前年度より2億5千万円増額されており、これは超高齢社会における歯科医療・口腔健康管理の重要性についての理解が深まっていることの表れであると日歯は捉えている。新規予算として「歯科疾患実態調査」に8,600万円、「OSCEの在り方・評価者養成に係る調査・実証事業」に6,700万円が計上されている。

21年度税制改正大綱

21年度税制改正大綱が昨年12月に閣議決定された。日歯及び日歯連盟による働き掛けの結果、社会保険診療報酬に係る所得計算の特例措置及び事業税非課税の特例措置については現行のまま存続となった。医療用機器等の特別償却制度の新設や事業承継税制の手続き簡素化、新型コロナウイルス感染症に係る歯科医院経営の負担増に対する税制上の対応についても引き続き訴えていく。

第114回歯科医師国家試験

3月16日(火)、第114回歯科医師国家試験の結果が発表された。総出願者数3,852名、総受験者数3,284名、総合格者数2,123名。新卒・既卒合計の合格率は64.6%で昨年(65.6%)より低下した。

医科歯科連携

今期は周術期の口腔健康管理の重要性についての周知を行っており、ポスター及びリーフレットを作成し医師会会員に配布した。

県行政に対する21年度要望

新型コロナウイルス感染症に対する継続的な歯科支援、新型コロナウイルス感染者からの歯科治療要請に対する感染症指定医療機関の歯科医療提供体制の充実を要望した。

新型コロナウイルス感染症への対応

県行政や厚労省等の行政機関、企業・団体等から、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い供給不足に陥ったマスクや消毒用アルコール等の衛生用品が提供された(マスク計624,700枚、手指消毒用アルコール12,621本、消毒用エタノール等1,925ℓ、グローブ94,200枚、フェイスシールド88,940枚、防護服22,800

枚、薬用石鹼1,320個等)。新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金については、712件の会員診療所から申請があった(未申請者5件)。医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援金は1月31日(日)時点で会員診療所602件が申請している。歯科医療従事者は新型コロナウイルスワクチンの医療従事者向け優先接種の対象とされている。5月前半には2回分の配布が完了する見込みである。本会では679件の歯科診療所、4,063名の会員等が接種を希望している。

オンライン資格確認システムの申込状況

オンライン資格確認システムについては3月末までに「顔認証付きカードリーダー」を申し込みれば自己負担額の上限(42万9千円)までの補助金が交付されることになっている。歯科診療所の申込率は2月末時点で、全国で28.6%、三重県内で25.2%。

21年4月の歯科用貴金属の随時改定I

21年4月は半年ごとの随時改定Iに当たり、価格変動が+8.9%となった歯科鋳造用金銀パラジウム合金の告示価格が現行の2,450円から2,668円に引き上げられる等、9品目で改定される。

三重とこわか国体・三重とこわか大会への協力

9月25日(土)から10月5日(火)に三重とこわか国体が、10月23日(土)から25日(月)に三重とこわか大会がそれぞれ開催される予定。三重とこわか国体については自転車競技(四日市市)と相撲(伊勢市)、三重とこわか大会についてはバスケットボール／車いすバスケットボール(津市)に歯科医師を派遣する。この他、選手を対象とした歯科健診事業も実施する。

20年度後期高齢者歯科健診

新型コロナウイルス感染症の影響による受診率の低下が懸念されたが、対象者数37,269名中、受診者数7,032名で、受診率は18.9%。

糖尿病と歯周病の関連調査

最終年度を迎える、対象者数1,056名中、受診者数615名で、受診率は58.2%。

議事

第1号議案	21年度理事報酬に関する件
第2号議案	21年度監事報酬に関する件
第3号議案	21年度事業計画に関する件
第4号議案	21年度会費並びに負担金の賦課徴収に関する件
第5号議案	資金調達及び設備投資の見込みに関する件
第6号議案	21年度予算に関する件
第7号議案	保健衛生賞受賞者に関する件



第1号議案は21年度の理事報酬、第2号議案は監事報酬をそれぞれ定めたもので、いずれも前年度と同額。第3号議案は21年度事業計画の承認を求めたもの。大杉会長は基本方針について説明し、国の方針や県行政との連携を強調したうえで、新型コロナウイルス感染症をはじめとした幅広い課題に対応していく姿勢を示した。次いで各常務理事らが具体的な事業内容について以下のとおり補足。日歯生涯研修セミナーは東海信越地区では8月22日(日)に岐阜県において開催予定で、同日に三重県内にもサテライト研修の会場を設営する方針。後期高齢者歯科健診については次年度から75歳と80歳に加えて77歳も対象とする他、無歯顎者も対象に含まれることから「75才からのお口の健康チェック」という通称名を使用する。東海4県統一診療所型歯科健診については、21年4月より愛知県内の健保組合からスタートして、順次拡大する方針。歯科助手講習会はオンラインでの開催となる。役員改選期に当たることから役員名簿を更新するが、会員名簿も4年ぶりに全て更新

する予定。また、8月には県歯と郡市歯の新役員が一堂に会する役員連絡協議会を開催する予定。

第4号議案は21年度会費並びに負担金の賦課徴収に関する件。稻本専務理事は新型コロナウイルス感染症の影響による収入減への対応として会費、入会金及び会館建設負担金等の減額も検討したが、4～5月の減収はあったものの、その後は一定の回復が認められることから、全て前年度と同額としたと説明し、理解を求めた。

第5号議案は年度をまたぐ資金の借り入れや、特定資産の取り崩し等による設備投資を県に報告するものだが、21年度はともに見込まれていない。

第6号議案は21年度予算に関する件。経常収益は2億5,318万円で、前年度に比べ182万円増加。主な増収は地域医療介護総合確保基金を含む委託金収入が1,085万円増加した影響。主な減額項目としては会館建設負担金を含む受取負担金が220万円減少(20年度の入会者の一括納入が多かったため)、障害者歯科センター診療報酬収入は20年度の実績で計算しているため754万円の減少となっている。経常費用は2億5,754万円で、前年度に比べ145万円の増。

第7号議案は保健衛生賞受賞者に関する件。保健衛生賞表彰規定に基づき、各郡市会より、会員14名が推薦された。

以上、上程された7議案は、全て賛成多数で承認された。

(広報情報委員・村田賢司 記)

2021年度事業計画

基本方針

「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）2020」では、「新たな日常に対応した予防・健康づくり、重症化予防の推進」の項目の歯科の文言において、かかりつけ歯科医の普及に努めるとともに、細菌性やウイルス性の疾患の予防という観点を含め、エビデンスの国民への普及や生涯を通じた歯科健康診査・フレイル対策・重症化予防にもつながる歯科医師・歯科衛生士による歯科口腔保健の充実、歯科医療専門職間、医科歯科、介護、障害福祉関係機関連携の推進等、さらに充実した記載となった。

これは歯科医療及び口腔健康管理の重要性への国民的理解が深まり歯科界の目指す新しい歯科医療の姿が國の方針として共有されつつあるということである。

県内においても「誰もが健康的に暮らせる『とこわかの三重』の実現」に向け、必要な役割を果たしていきたいと考えている。そのためにも、感染防止対策を最も重要な視点と位置付け、県行政

や市町、関係機関・団体等と相互に連携しながら、必要な事業を総合的、計画的に進める。

さらに地域包括ケアシステムの考え方方が全世代・全対象型へと発展拡大し、予防的な視点も求められていることを踏まえ、子育て支援や生活支援も含めた歯科医療・歯科口腔保健のフィールドを的確にカバーする活動を目指し、医科歯科連携、多職種連携に係る研修についてもより積極的に関与する。

また、新型コロナウイルス感染症に対応できる歯科医療体制のサポート及び県歯事業運営方法の構築を行うとともに、多発する自然災害等の非常時に対応できる体制も引き続き整備する。

併せて、良質な歯科医療・歯科口腔保健サービスの継続的な提供を可能とするために、会員個々の診療所の経営基盤の安定化に努め、会員が安心して本会事業に参加できる環境を整備する。

上記の方針に基づき以下のような事業に取り組む。

1 学術研修事業

健康と福祉の増進には、医学と歯科医療の進歩発展が必要不可欠である。本会では、関係機関・各種学会等と連携し、地域医療を担う歯科医師等の生涯にわたる研修の場を不斷に提供し、県民の生涯にわたる心身の健康に寄与する。

- 1. 歯科医学に関する研修会を開催する
- 2. 日本歯科医師会が実施する生涯研修事業に協力する
- 3. 日本歯科医学会が実施する学術研修に協力する
- 4. 歯科医師臨床研修制度に協力する
- 5. 図書及び視聴覚教材を充実する
- 6. 関係諸会議、学会等に出席して学術研修事業に反映する
- 7. 歯科医学に関する学術情報の収集と管理を行い、公式ウェブサイト等を通じて県民及び会員に提供する

2 地域保健・公衆衛生事業

全身の健康づくりに寄与する歯科口腔保健という認識の下、県民の健康増進と健康寿命の延伸に貢献することを目的として、行政及び地域住民等の組織・団体と協働を図りながら、各ライフステージに対応し、かつ地域に根ざした歯科口腔保健活動の推進に幅広く取り組む。特に超高齢社会の到来に対応し、介護関連をはじめとした関連職種と連携しながら、在宅歯科診療、認知症対策及び介護予防の普及、推進に係る事業を実施する。病院歯科及び医科との連携にも取り組み、るべき地域歯科医療体制の確立に寄与する。

-
1. 三重県歯科保健大会を開催する
 2. 医科歯科連携を推進する（がん及び周術期、認知症、糖尿病、妊婦、摂食嚥下障害等）
 3. 医療的ケア児を含む障がい児(者)歯科保健対策を推進する（みえ歯ートネット事業等）
 4. 地域の歯科医師会と連携して、歯と口の健康週間事業を行う（歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール、よい歯の児童生徒 審査表彰、親と子のよい歯のコンクール）
 5. 妊婦歯科健康診査・歯科口腔保健指導を推進する（啓発リーフレットの配布等）
 6. フッ化物洗口推進事業を行う（う蝕予防研修会、保育所・幼稚園・小学校等でのフッ化物洗口、指導用ツールの作成、フッ化物洗口推進会議等）
 7. 学校歯科保健関連事業を行う（三重県学校歯科衛生大会、先進地視察研修、歯科保健出前研修等）
 8. 児童虐待防止事業を行う（歯科医師への啓発、学校・養護教諭との連携、児童相談所一時保護所入所者への歯科健康診査・歯科保健指導、MIESの普及、犯罪被害者支援等）
 9. スポーツ歯科関連事業を行う（国民体育大会等）
 10. 産業歯科保健関連事業を行う（事業所歯科健康診査、関係団体との連携、研修会等）
 11. 成人歯科疾患予防事業を行う（糖尿病と歯周病の関連調査、啓発リーフレットの配布、必要な調査・研究等）
 12. いい歯の8020コンクールを行う
 13. 三重県後期高齢者医療広域連合と協力し、歯科健康診査を行う
 14. 高齢者施設等での口腔機能向上推進事業を行う
 15. 地域歯科医療連携を推進する（地域口腔ケアステーション機能充実、ネットワーク会議、伝達講習会、運営連絡協議会、サポートマネージャーの配置、在宅歯科診療による身体機能管理機器整備等）
 16. 在宅歯科診療、介護予防、口腔健康管理等の研修事業及び協議会等を、広く関連職種も対象として行う
 17. 食育を推進する（食支援担当者会議、講演会等）
 18. みえ8020運動推進員を育成する
 19. 歯科口腔保健に関わる啓発パンフレット等を作成する
 20. 三重県が行う歯科口腔保健事業に協力する
 21. 地域の歯科医師会が実施する公衆衛生関連事業を支援する
 22. 郡市歯科医師会公衆衛生担当者連絡協議会を開催する
 23. 保健文化賞・保健衛生賞に関する各事業を行う
 24. 関係諸会議、学会等に出席して、地域保健・公衆衛生事業に反映する

3 社会保障・医療保険関連事業

公的医療保険制度の下で、県民に歯科医療を継続的に提供できる健全な体制を維持、発展させるために、地域の歯科医療を担う保険医及び保険医療機関等を支援し、保険歯科診療に係る正確で分かりやすい情報を提供する。行政を含む関係機関と連携を取り、歯科医学的根拠に基づいた質の高い歯科医療が提供できる環境作りに努める。

-
1. 公的医療保険及び介護保険に関わる情報を、種々の媒体を用いて正確に分かりやすく提供する
 2. 公的医療保険及び介護保険に関わる講習会を行う
 3. 地域の歯科医師会等が実施する社会保障・医療保険関連事業を支援する
 4. 審査支払機関における審査が歯科医学的に適正に行われるよう、社会保険診療報酬支払基金三重支部及び三重県国民健康保険団体連合

- 会審査委員会との意見交換を行う
5. 関係団体との連絡を密に行い、保険医療機関による法的手続きが円滑に進められるよう支援する
 6. 東海北陸厚生局三重事務所と三重県、厚生労働省の行う保険医及び保険医療機関に対する行政指導及び監査に立ち会う
 7. 福祉医療助成制度の円滑で効果的な運営に協力する
 8. 歯科保険診療を中心に、公的医療保険制度に関わる種々の問題を中長期的な視点から検討する
 9. 関係諸会議に出席して、社会保障・医療保険関連事業に反映する

4 医療提供体制整備事業

安全で質の高い歯科医療を提供できる体制を整備するために、歯科医療管理（医療事故、院内感染防止対策等の医療安全対策の推進を含む）、歯科医業経営等の分野に係る事業を行う。特に喫緊の課題であるコ・デンタルスタッフの確保、養成、質の向上については、有効かつ実施可能な施策を検討し実施する。大規模災害時の医療救護体制の確保のため、行政及び地域の歯科医師会との連携体制を構築する他、救急医療体制の整備にも協力する。

1. 医療に関する講習会を開催する
2. 新型コロナウイルス感染症に対する情報収集および発信等を行う
3. 県内高等学校生徒を対象としたインターンシップ事業を行う
4. 県内の離職歯科衛生士を対象とした復職支援事業を行う
5. 歯科衛生士を対象とした講習会を開催する
6. 歯科助手講習会を開催する
7. 無料職業紹介事業を行う
8. 医療相談、医療事故処理を行う
9. 三重県医療事故調査等支援団体連絡協議会に協力する
10. 行政及び地域の歯科医師会と連携を取り、大規模災害時の歯科活動体制の整備を行う
11. 三重県救急医療情報システムに参加・協力する
12. 病診連携を推進する
13. 日歯の青色申告に関する事業に協力する
14. 関係諸会議に出席して、医療提供体制整備事業に反映する
15. 郡市歯科医師会顧問税理士連絡協議会を必要に応じて開催する

5 調査研究事業

歯科医療・歯科口腔保健に関する有益な情報を収集するとともに、必要な調査を実施し、本会事業に資するための分析、研究を行う。

1. 三重県歯科医師会事業の企画立案に資するため、本県の歯科医療・歯科口腔保健に関わる調査研究を行う
2. 歯科医療・歯科口腔保健に関わる種々の情報の収集及びその管理を行い、公式ウェブサイト等を通じて提供する
3. 三重県歯科医師会事業の企画立案に参画する
4. 関係諸会議に出席し、調査研究事業に反映する

6 広報活動事業

機関紙としての『三歯会報』を頒布する他、公式ウェブサイト及びメールマガジン等のICTメディアも有効に活用して、歯科医療・歯科口腔保健に関する情報を広く一般に提供する。

1. 『三歯会報』を発行し、三重県歯科医師会事業に関わる情報及びその他の歯科医療・歯科口腔保健に関わる有益な情報を提供する
2. 公式ウェブサイト、メールマガジン及び新聞、テレビ等の一般メディアを活用し、県民を対象とした歯科口腔保健に関する啓発活動を行うとともに、三重県歯科医師会事業に関わる

7 障がい者歯科医療事業

地域における障がい者歯科医療の普及・充実を目的として、地域障がい児(者)歯科診療ネットワーク「みえ歯ートネット」の運営に参画する。障害者歯科センターは、同ネットワークの中核としての機能を担い、専門的な障がい者歯科医療を行う他、日本障害者歯科学会認定医の指導施設として認定医の育成や、歯科医師、歯科衛生士等の専門研修を行う。

1. 地域障がい児(者)歯科診療ネットワーク「みえ歯ートネット」の運営に参画する
2. 障害者歯科センターでは、年間90日の専門的な障がい者歯科診療を行うとともに、「みえ歯ートネット」の中核としての役割を担う
3. 障害者歯科センターでは、障害者歯科学会認定医の指導施設として、認定医の育成や会員、歯科衛生士等の専門研修を行う
4. 関係諸会議、学会等に出席して、障がい者歯科医療事業に反映する

8 会員研修・福祉厚生事業

県民に良質な歯科医療を継続して提供するために、会員のスキルアップを図るとともに、コ・デンタルスタッフを含めた会員の福利厚生、健康増進に努める。

1. 会員研修事業
 - ① 地域の歯科医師会が開催する学術研修事業を支援する
 - ② 保険診療についての資料の作成及び説明会を実施する
 - ③ 保険診療に関して必要に応じて自主懇談または対象者を特定した講習会を行う
 - ④ 医療安全対策の推進（BLS講習会等関連講習会の開催・サーベイメーターの貸与等）を行う
 - ⑤ 地域の歯科医師会が実施する医療提供体制整備事業を支援する
 - ⑥ インターネット等により会員に様々な情報を提供する
2. 福祉厚生事業
 - ① 会員の親睦と福祉の向上を図る
 - ② 互助会事業を行う
 - ③ 協同組合と連携し、会員及びコ・デンタルスタッフ等の福利厚生事業の充実を図る
 - ④ 国保組合と連携し、会員及びコ・デンタルスタッフ等の健康管理の推進を図る
 - ⑤ 日本歯科医師会の行う福祉事業に協力する
 - ⑥ 会員歯科診療所での永年勤続者に対する顕彰を行う
 - ⑦ 関係諸会議に出席して、福祉厚生事業に反映する

9 その他の事業（収益事業）

1. 会館及び駐車場等を関係団体等に賃貸する
2. 『三歯会報』等に広告を掲載する

こども110番の歯科医院



三重県歯科医師会では、「社会貢献活動の一環」として、三重県警、三重県、三重県教育委員会の協力のもと、日本の将来を担う宝である子どもたちを守るために、2006年6月より「こども110番の歯科医院」制度を導入しました。これは、不審人物につきまとわれたり、声をかけられたりした子どもたちが歯科医院に駆け込んできた場合、子どもを保護し、警察への通報等の対応を行うものです。

私たちは、子どもたちの笑顔を守り、明るい地域社会づくりに少しでも協力していきたいと考えています。

● 「こども110番の歯科医院」の皆様へ

三重県歯科医師会では「こども110番の歯科医院 対応マニュアル 一 子供たちを犯罪被害から守るために一」を作成しています。ご活用下さい。

●○●○●○●○● こどもサポート ●○●○●○●○●○

三重県歯科医師会会員の皆様へ

わが国では少子高齢化が進む一方で、乳幼児期、学童期の子どもたちへの虐待が年々増加しています。三重県歯科医師会が2005年度に三重県健康福祉部の協力を得て実施した要保護児童歯科調査結果では、

虐待が疑われる要保護児童においては、う蝕経験者率が有意に高く、う蝕になった歯が処置されている率が有意に低いという結果が出ています。

歯科医療従事者は、乳幼児集団歯科健診や歯科相談、学校歯科健診、歯科診療所等において、日常的に子どもや養育者に接する機会が多く、専門家の立場から虐待の早期発見に関わるべきことが提唱されています。

本会と三重県では8020運動推進特別事業の一環として、子育て支援の観点から「歯科医の立場からの児童虐待防止と子育て支援（児童虐待防止マニュアル）」を作成しています。児童虐待の早期発見・予防の一助となるよう取り組んでいくために、ぜひご活用下さい。



2021年度

April

第1回理事会

2021年4月1日（木）

三重県歯科医師会館

「みえ歯と口腔の健康づくり条例」改正を報告

4月1日(木)、21年度第1回理事会が開かれた。大杉会長は、3月23日付で「みえ歯と口腔の健康づくり条例の一部を改正する条例」が公布され、4月1日付で施行されたことを報告した。今回の改正では、医療的ケア児や妊娠期から子育て期における母子の歯科健診、スポーツによる口腔外傷の予防やオーラルフレイル対策等、より幅広く歯科保健の役割が明記されており、今後の様々な施策展開の根拠となることが期待できる。スポーツ歯科PTは三重県スポーツ歯科健診事業の詳細について報告。4月12日(月)に三重県歯から三重県行政に対して同事業に係る贈呈式が行われる。新型コロナウイルス感染症対策本部は医療従事者向け優先接種の進捗について報告。ようやく予診票等が各医療機関等に届き始めたものの、接種日程等の調整にはもう少し時間がかかりそうだ。

報告等

●三役報告

【出席会議】第2回みえライフノベーション総合特区地域協議会・第2回みえメディカルバレー推進代表者会議（Web）（3/15）、20年度第2回三重県地域医療介護総合確保懇話会（Web）（3/16）、20年度第3回三重県医療審議会（Web）（3/22）、20年度三重県防災会議（3/23）、三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会第4回常任委員会（3/25）、20年度第1回三重県公衆衛生審議会（Web）（3/23）、三重県健康管理事業センター理事会（Web）（3/18）【報告事項】みえ歯と口腔の健康づくり条例の一部改正（4/1施行）、日歯次期地区理事の推薦

●社会保障委員会

【事業活動】第29回社会保険疑義事項検討会議（3/24）【報告事項】四日市市子ども医療費助成現物給付の対象地域の拡大、診療報酬における加算等の算定対象となる後発医薬品等、「薬価基準による歯科関係薬剤点数表」

●医療管理委員会

【事業活動】院内感染防止対策講習会（3/7）、

21年度歯科助手講習会録画撮り（3/11、18、25）

【報告事項】「患者さんの個人情報の利用目的の明示」に係る院内掲示ポスター、21年度歯科助手講習会申込者への案内、21年度歯科助手講習会再通知、21年度歯科衛生士研修会開催案内、『三歯会報』4・5月号植村顧問記事、県内歯科衛生士養成学校入学・卒業・国家試験合否状況、Instagram広告のイメージ、オンライン資格確認等システム、歯科相談5件

●学術委員会

【事業活動】新入会員講習会（3/7）【報告事項】研修会・講習会、医薬品関連情報（HP）、日本歯科医学会学術講演会（第2回）開催に伴う実施要領等、21年度第1回静岡県歯学術大会（案内）【協議事項】Eシステム／施設基準取得に係る統計及び20年度Eシステムの改修に伴う会員への周知

●福祉厚生委員会

【報告事項】『会員死亡時の手続き』の改訂、新型コロナウイルス感染被害見舞金（日歯）【協議事項】歯科医師応援ファンドのチラシ（愛知県

医療信用組合)

●公衆衛生委員会

【事業活動】歯科健診事業説明録画撮り(3/4)
 【出席会議】20年度三重県介護予防市町支援委員会(書面)(3/16)、日本小児保健協会学術集会第2回プログラム委員会(Web)(3/25)、20年度都道府県歯科医師会地域保健・産業保健・介護保険担当理事連絡協議会(Web)(3/31)
 【報告事項】20年度「食と健康フォーラム」視聴回数、後期高齢者歯科健診伝達講習会、後期高齢者歯科健診(未登録歯科医院宛協力依頼)、後期高齢者歯科健診19年度分析結果、『フッ化物応用マニュアル』の改訂

●広報情報委員会

【事業活動】FM三重『はぴはぴ子育て』(3/25
 収録)【報告事項】20年度鈴鹿市高齢者在宅訪問歯科健診事業分析結果【協議事項】三重テレビ『Mieライブ』の内容

●スポーツ歯科PT

【出席会議】三重県庁国体・全国障害者スポーツ大会局来館(3/25)【報告事項】三重とことわか国体・三重とことわか大会の救護所への歯科医師派遣等の協力、三重県スポーツ歯科健診事業の実施

協議事項

1. 21年度年間事業計画について
2. 第26回三重県歯科保健大会について

議題

- 第1号：都市会長会議の招集並びに附議事項に関する件(4/22)
- 第2号：21年度歯と口の健康週間事業について
- 第3号：三重県地域口腔ケアステーションサポートマネージャー雇用事業申請について
- 第4号：代議員並びに予備代議員の改選について
- 第5号：都市会助成金の支給について
- 第6号：入会申請／中野恵太(桑員)、近藤太郎(桑員)、小川周輔(桑員)、石坂亮(四日市)、
 神原亮(鈴鹿)、美濃明希(津)
- 第7号：互助会入会申請
- 第8号：互助会長寿祝共済金支給について
- 第9号：互助会給付(3/4～31申請分)

●障害者歯科センター

【事業活動】伊勢保健衛生専門学校事前学習(3/17)、20年度障害者歯科センター推進連絡協議会(3/18)、障害者歯科センター診療実績

●災害時対応・体制室

【報告事項】セコム登録状況(3/31現在)、セコム安否確認訓練(4/1)、災害時歯科保健医療提供体制整備事業

●新型コロナウイルス感染症対策本部

【報告事項】①日歯の対応：新型コロナウイルス感染症対応下での歯科医業経営状況等アンケート調査報告書(9～12月分概要版)②県歯の対応：衛生用品の配布(3月末日現在)、第二次補正予算(支援金)に対する対応、第三次補正予算(補助金)に対する対応、21年度厚労省実施分補助金、ワクチン優先接種

●日歯委員会等

【地域保健委員会】第6回産業歯科保健ワーキンググループ(Web)(3/16)【日学歯】第2回生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業部会(Web)(3/3)、第11回理事会(Web)(3/10)、第101回臨時代議員会(3/24)

●その他

【出席会議】介護給付費等審査委員会(3/24)

2021年度

April

第1回都市会長会議

2021年4月22日（木）

三重県歯科医師会館

新型コロナウイルス感染症の影響続く

4月22日(木)、21年度第1回都市会長会議が開かれた。変異ウイルスを主体とした新型コロナウイルス感染症の第4波が到来。東京・大阪等4都府県への緊急事態宣言が確実視されるとともに、三重県内でも4月21日(水)の新規感染者が50人を超えて過去最多を記録する等、一段と緊張感の高まる中、昨年8月に続いて部分的なWeb方式での開催を選択。県歯執行部が県歯会館に参集したのに対し、都市会長らは自宅等からリモートで参加した。4月19日(月)から待望の新型コロナワクチンの優先接種が桑員・伊賀等の一部地域でスタートしたが、地域によっては接種が5月にずれ込む場合もある見込み。大杉会長は「みえ歯と口腔の健康づくり条例」の一部改正や、三重とこわか国体・三重とこわか大会の候補選手を対象に三重県歯公認スポーツデンティストの認定を受けた会員の診療所で実施する無料歯科健診について、4月12日(月)に三重県庁で贈呈式を挙行したこと等を報告。公衆衛生委員会は「歯と口の健康週間」事業について、昨年と同様に「親と子のよい歯のコンクール」「よい歯の児童生徒 審査表彰」は中止し、「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」のみ実施する方針を明らかにした。

会長報告



みえ歯と口腔の健康づくり条例の一部改正

3月23日(火)に「みえ歯と口腔の健康づくり条例の一部を改正する条例」が公布された。主な改正点としては、歯科健診の環境整備の対象者として医療的ケア児や妊娠期から子育て期までにおける母子が加えられたこと、スポーツ外傷への対応や事業所での取組み、フレイル及びオーラルフレイル対策、感染症への備え等について明記されたことが挙げられる。

三重とこわか国体・三重とこわか大会の候補選手を対象とした歯科健診に係る贈呈式

三重とこわか国体・三重とこわか大会の候補選手を対象とした歯科健診を実施するに当たり、4月12日(月)に三重県庁で同事業に係る贈呈式を行った(P.1参照)。

県行政等の人事異動

県行政の人事異動では、医療保健部長の加太竜一氏は留任。新たに設けられた理事職に前副部長の中尾洋一氏が就いた。健康推進課長及び三重県立公衆衛生学院長は中川耕次氏。前任の芝田登美子氏(歯科医師)は鈴鹿保健所の副所長となり、3か月の研修後に所長に昇格する。

三重県地域医療介護総合確保基金事業案

21年度予算における地域医療介護総合確保基金は、医療分1,179億円、介護分824億円が計上されており、三重県の事業案では、医療分が継続59・新規8の計67事業に対し、15億4千万円、

介護分が継続69・新規11の計80事業に対し、11億4千万円が見込まれている。

第7次三重県医療計画の中間見直し（最終案）

一般会務報告

会員数

21年4月1日(木)～19日(月)の期間で入会6名。現会員数859名。

代議員並びに予備代議員の選出

各都市会で県歯代議員並びに予備代議員を選出のうえ、6月30日(水)までに報告されたい。任期は7月1日(木)から。

第23回定時代議員会の日程

6月20日(日)に第23回定時代議員会を開催する。今回も会議時間の短縮を図る予定。

21年度助成金の支給

各都市会に対して4月1日付の会員数に応じ

3月22日(月)に開かれた20年度第3回三重県医療審議会で、第7次三重県医療計画の中間見直しの最終案が承認された。

て助成金を支給する。

三重県地域口腔ケアステーションサポートマネージャー雇用事業

20年度と同様に9地区13名の申請があった。年度末までの予算額は1,672万円で、残高は約43万円となる見込み。追加募集は行わない。なお、22年度からは職種が歯科衛生士に限られるので留意されたい。

障害者歯科センター実績報告

2月診療分：診療日数7日間、件数87件、実日数108日。3月診療分：診療日数8日間、件数111件、実日数137日。

委員会事業報告

【学術】（林常務理事）

日歯Eシステムの改修について

日歯Eシステムの改修が実施された。スマートフォンへの対応が行われた他、教材コンテンツの動画検索の選択肢として、従来の「セミナー」「ライブラリー」に加え「施設基準の届出に関する研修」「その他の研修」が追加され、修了証のPDFファイルもダウンロードできるようになった。

21年度学術研修会

第1回として9月12日(日)に咬合誘導をテーマに須貝昭弘氏(川崎市開業)を、第2回として22年2月6日(日)には部分床義歯をテーマに若林則幸氏(東京医科歯科大学教授)を講師に迎えて研修会を開催する予定。

都市会学術研修会

4月22日(木)～7月18日(日)の期間、鈴鹿と松阪で研修会が予定されている。

【公衆衛生】（福森常務理事）

21年度「歯と口の健康週間」実施要領

6月4日(金)～10日(木)までを実施期間と

するが、昨年と同様に「親と子のよい歯のコンクール」「よい歯の児童生徒 審査表彰」は中止する。日学歯主催の「歯・口の健康に関する图画・ポスターコンクール」は審査の締切りを延期したうえで実施する。

いい歯の8020表彰事業

例年通り実施するが、三重県歯科保健大会での表彰式については未定。歯科健診票については後期高齢者歯科健診の「健診結果のお知らせ」の様式に準じたものに改訂した。

19年度三重県後期高齢者歯科健診分析結果

愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座・島崎義浩教授による関連データ分析結果報告がまとめた。県歯公式ウェブサイトに掲載しているので参照されたい。

21年度歯科保健推進事業（県よりの委託）

県行政より委託されている歯科保健推進事業については、コロナ禍の現状を鑑み、無理のない範囲で実施するよう求められている。研修会等はWeb開催等で実施可能ながら、施設等での事業は難しいかもしれない。

フッ化物洗口推進事業

20年度は新規の施設での実施は中止したが、今年度は希望する施設では実施していきたい。実施施設等を対象としたフッ化物応用研修会及びフッ化物応用推進事業説明会については7月29日(木)にWeb開催する予定。

21年度糖尿病と歯周病の関連調査

健診期間が終了したため、今年度はアンケートのみ実施する。

学校歯科保健指導用スライド

学校歯科保健指導で活用できるスライド(PPTファイル)の作成を進めている。

『フッ化物応用マニュアル』の改訂

7年ぶりに改訂を行った。細部まで見直しを行っているので活用されたい。

第31回日本産業衛生学会全国協議会

12月3日(金)～5日(日)に三重県総合文化センターで第31回日本産業衛生学会全国協議会が開催される。テーマは「経済社会と健康：ポストコロナの産業衛生を考える」。

【社会保障】(前田常務理事)

新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱い(その35)

①小児の外来における診療等の取扱いは21年9月まで継続 ②医療機関における感染症対策に係る評価として21年4～9月診療分について、初・再診料等に5点加算 ③新型コロナウイルス感染症患者に対して歯科医療を行った場合298点加算。

「薬価基準による歯科関係薬剤点数表」

従来は日歯が冊子を作成のうえ会員に配布していたが、今年度よりPDFファイルでの提供となった。県歯ウェブサイト会員ページにも掲載しているのでダウンロードして活用されたい。

歯科用貴金属価格の随時改定Ⅱ(21年7月)

21年7月の随時改定Ⅱでは、±15%を超える価格変動がなかったため、告示価格の変更は行われない。

保険医療機関等及び保険医等の指導及び監査

21年度の保険医療機関等及び保険医等の指導

及び監査について、集団指導及び集団的個別指導は資料配布により実施される。個別指導は実施するが、高点数によるものは実施しない。新規個別指導は昨年度の未実施分も含め全て実施する。監査は必要に応じて実施する。

【医療管理】(林常務理事)

21年度歯科衛生士研修会

6月13日(日)に、会場での受講とZoomウェビナーの併用によるハイブリッド形式で開催する。講師は大阪大学・天野敦雄教授。

県内歯科衛生士養成学校の入学状況等

県下の歯科衛生士養成学校3校を合わせた定員数110名に対し、入学者が108名。近年では最も多い。

ゴールデンウィーク中の都市会ごとの診療状況

津・松阪・伊勢は休日診療所で対応。南紀と伊賀は輪番制で対応。

21年経済センサス活動調査

総務省及び経済産業省が所管する調査で、全事業所を対象に実施されるので協力されたい。

Instagram広告を活用した歯科衛生士PR事業

三重県歯では歯科衛生士PR事業として、20年度よりInstagram広告の活用をスタートした。入学者アンケートでも有効性が確認されたので継続して実施する。

オンライン資格活用の本格運用の延期

オンライン資格確認については、21年3月からの本格運用を目指していたが、プレ運用の中で課題が見つかったため、本格運用の開始を10月まで延期することになった。

医療事故調査制度の現況報告(2～3月)

3月末時点での医療事故報告が累計2,018件、院内調査結果報告が累計1,717件、相談件数が累計10,348件、センター調査依頼件数が累計148件。

【広報情報】(太田常務理事)

『三歯会報』「都市会長メッセージ」原稿依頼

役員改選年度に当たり、『三歯会報』8・9月号に各都市会の会長メッセージを掲載する。なお、「歯と口の健康週間」記事は掲載しない。

その他の報告



【災害時対応・体制室】(稻本専務理事、桑名理事)

セコム安否確認システム訓練結果（4月1日）

対象者847名中、報告者486名（57.37%）、未報告者361名。

セコム安否確認システムの登録状況

4月16日(金)現在の登録状況は会員数852名中781名（91.67%）。

災害時歯科保健医療提供体制整備事業

ポータブルユニット等4点を郡市会に配布したので活用されたい。

【スポーツ歯科PT】(福森常務理事)

三重とこわか国体・三重とこわか大会の救護所への歯科医師派遣

三重とこわか国体の自転車競技(四日市市)と相撲(伊勢市)、三重とこわか大会のバスケットボール／車いすバスケットボール(津市)に15名のスポーツデンティストを派遣する。

21年度三重県スポーツ歯科健診

三重とこわか国体・三重とこわか大会の候補選手約700名を対象とした歯科健診事業を実施する。受診券は競技団体を通じて配布。健診期間は6月1日(火)から9月18日(土)。104名のスポーツデンティストの診療所で実施する。

【新型コロナウイルス感染症対策本部】

(稻本専務理事等)

日歯「みんなで安心マーク」発行事業の現況

日歯の「みんなで安心マーク」事業について、3月15日(月)現在の発行件数は全国で13,994件、三重県では207件。

第二次補正予算による慰労金・支援金の申請状況

2月末で申請が終了した。県内の申請状況は非会員も含め概算請求が607件、清算請求が187件。

第三次補正予算による補助金（25万円）

第三次補正予算による「医療機関・薬局等の感染拡大防止等の支援」として25万円の支援が行われる。既に申請は締め切られているが、交付決定通知の発送が遅延している。当初4月10日(土)までに実績報告書を提出することとされていたが、交付決定日が4月1日(木)以降となった場合は、交付決定通知書で指定する期限までに提出するよう改められた。

21年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金（25万円）

前項の第三次補正予算による補助金を申請できなかった医療機関が対象。対象経費は21年4月1日(木)から9月30日(木)までに要したもの。

新型コロナウイルスワクチン医療従事者向け優先接種

4月9日付のL-net通信(Fax)で三重県による新型コロナウイルスワクチンの医療従事者向け優先接種に係る予約システムについて周知したが、不具合のため同システムが稼働できなかった。一方で4月19日(月)以降にワクチンが供給されることとなったため、急きょ対象医療機関に直接、接種日時が文書で通知された。現時点では市町・地域により対応が異なっているので、随時提供される情報に従ってワクチン接種を受けられたい。

新型コロナウイルスワクチンの接種体制に係る歯科医師の協力

3月末時点で厚労省から日歯に対して「新型コロナウイルスワクチンの接種体制の構築」に当たり協力して欲しいとの依頼があった。

(広報情報委員・深水陽介 記)

2021年度

May

第2回理事会

2021年5月13日（木）

三重県歯科医師会館

三重県歯科保健大会、今年度の鈴鹿開催断念



5月13日(木)、21年度第2回理事会が開かれた。稻本専務理事は第26回三重県歯科保健大会について、新型コロナウイルス感染症の十分な収束が見込めない現状から、今年度も開催が困難であるとの見解を示した。歯と口の健康週間事業の中止や鈴鹿市での会場確保の条件等からの総合的な判断。一方で「いい歯の8020コンクール」は実施されることから、表彰方法等も含め、引き続き対応を検討する。災害時の対応・体制室は、日歯が大規模災害時に活動するJDAT (Japan Dental Alliance Team) の創設を検討していることを報告。今後、都道府県単位での災害歯科支援チームの編成が求められており、都市会へも協力依頼を行う。議事では、次期役員選挙や日歯代議員及び予備代議員選挙の公示等についての議案が承認された。

報告等

●三役報告

- 【出席会議】20年度東海信越地区歯科医師会第3回会長・専務理事連絡協議会（Web）(4/17)
- 【報告事項】次期日本歯科医学会会長選挙

●社会保障委員会

- 【事業活動】自主懇談（事前）(5/7) 【出席会議】歯科医療機関指導・監査等実施計画の事前打合せ(4/15) 【報告事項】三重県内市町福祉医療費

助成制度実施状況一覧、新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱い（その35）に係る略称、小林化工（株）が有する製造販売承認の取消し等に伴う使用薬剤の薬価の取扱い、21年度社保通知No.1

●医療管理委員会

- 【報告事項】歯科衛生士ポスター掲示依頼、求人依頼、歯科衛生士学校入学時アンケート結果、

歯科相談 2 件【協議事項】歯科衛生士研修会の開催方法及び再通知、インターナンシップ等事業の実施

●学術委員会

【報告事項】研修会・講習会、医薬品関連情報(HP)、学術研修会助成事業、歯科医師臨床研修指導歯科医講習会(事前案内)、日歯図書館の除籍対象蔵書の二次活用

●公衆衛生委員会

【事業活動】公衆衛生各事業打合せ(Web)(4/15)、公衆衛生担当者合同連絡協議会(Web)(4/15)【出席会議】第69回日本小児保健協会学術集会・第3回プログラム委員会(Web)(5/13)【報告事項】歯科保健指導用スライド、フッ化物応用研修会講師、第70回三重県学校歯科衛生大会講師【協議事項】21年度公衆衛生事業、学校歯科医研修会における講師依頼の対応、三重県小児保健協会に係る対応

●広報情報委員会

【事業活動】FM三重『はぴはぴ子育て』(4/9放送、4/22収録)【報告事項】三重テレビ『Mie ライブ』打合せ(4/22)、20年度三重県後期高齢者歯科健診事業の分析結果【協議事項】役員名簿広告協賛一覧

●スポーツ歯科PT

【事業活動】スポーツ歯科健診贈呈式(4/12)【報告事項】日本スポーツ協会スポーツデンティスト更新研修、糖質コルチコイドの競技会時の口腔内局所使用の禁止

●障害者歯科センター

【事業活動】伊勢保健衛生専門学校 障害者歯科センター実習における事前学習(4/21、28)、障害者歯科センター診療実績【報告事項】診療日の変更、新型コロナウイルス感染拡大防止のための問診票(案)、ヒヤリハット報告

●災害時対応・体制室

【報告事項】セコム登録状況(5/12現在)、各都道府県における災害歯科支援チームの編成(日歯)

●新型コロナウイルス感染症対策本部

【出席会議】第9回三重県新型コロナウイルス感染症対策協議会(Web)(4/30)【報告事項】①日歯の対応：院内感染対策費に関する調査、ワクチン接種のための筋肉内注射の歯科医師による実施及び研修 ②県歯の対応：21年度厚労省実施分補助金、ワクチン優先接種(予約システムの稼働及び通知状況) ③その他の対応：新型コロナウイルス感染症に対する感染防止、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に伴う歯科医療機関における対応

●日歯委員会等

【地域保健委員会】第7回産業歯科保健ワーキンググループ(Web)(4/21)、第9回正・副委員長打合せ(Web)(4/21)、第7回地域保健委員会(5/12)【日学歯】第1回理事会(Web)(4/21)、生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業連絡協議会(5/12)

●その他

【出席会議】介護給付費等審査委員会(4/22)、三重県警察歯科医会理事会(5/6)

協議事項

1. 第26回三重県歯科保健大会について
2. いい歯の8020コンクール会員宛周知について

議題

- 第1号：次期役員選挙の公示について
- 第2号：日本歯科医師会代議員及び予備代議員選挙の公示について
- 第3号：互助会給付(4/1～5/10 申請分)



税務署等窓口における押印の廃止について

Q：税務署等への提出書類の押印が廃止されたと聞きましたが、その内容を教えてください。

A：国税に関する法律に基づき税務署に提出する「申告書、申請書、届出書、調書その他の書類」には、全て押印が必要である旨、国税通則法第124条第2項に定められていました。

押印の見直しを含む「所得税法等の一部を改正する法律」が、21年3月26日に成立し、同月31日に公布されました。これにより、これまで認め印でよいとされていた書類を中心に、21年4月1日以後に提出される多くの税務関係書類（国税関係書類及び地方税関係書類）は、押印が廃止されました。

ただし、認め印でなく実印の押印が必要であったものや印鑑登録証明書の添付が求められていた提出書類については、押印廃止の対象外となるものがあります。

21年4月1日以後に、税務署・市区町村、労働局・公共職業安定所等、行政機関から送付される書類で押印が廃止された書類には、「押印」欄が削除されています。なお、押印欄のある旧様式についても、引き続き使用できますが、押印欄への押印は不要です。

なお、税務署等へ電子申告・申請する場合は、引き続き電子証明書による電子署名が必要です（スマートフォンのパスワード方式による電子申告・申請に必要なパスワードは、税務署の窓口に本人自身が出向き、本人確認のできる書類を提示して交付を受けることができます）。

税務署等窓口における押印の取扱い

押印の不要となる書類	引き続き押印が必要な書類
<ul style="list-style-type: none"> ・確定申告書・修正申告書 ・更正の請求書 ・年末調整の書類 ・国税の届出書や申請書 ・延納申請書、物納申請書 （地方税申告書・届出書や申請書） 	<ul style="list-style-type: none"> ・相続税及び贈与税の特例における添付書類のうち「財産の分割の協議に関する書類」 ・担保提供関係書類及び物納手続関係書類のうち、実印の押印及び印鑑証明書の添付を求められている書類（「納税保証書」「抵当権設定登記承諾書」等、「所有権移転登記承諾書」）

(注) 1 振替依頼書やダイレクト納付利用届出書については、引き続き届出印及び銀行印の押印が必要です。

2 税務手続きにおける委任者（親族を含みます）からの委任状等については、特定個人情報の開示請求等に係る委任状を除き、押印の必要はありませんが、特定個人情報の開示請求（納税証明書等）や申告書等の閲覧サービスについては、委任の事実を確認するため、委任状への実印の押印と印鑑登録証明書等の添付等が必要です。

（参考）公共職業安定所の窓口における押印の取扱い

公共職業安定所の窓口において引き続き押印が必要な主な書類は次のとおりです。

- ① 雇用保険の事業所の各種変更の届出書
- ② 雇用保険の事業所設置の届出書
- ③ 再就職手当の支給申請手続き等に係る事業主証明書
- ④ 代理人に係る事項の変更届出書及び代理人の選任・解任の届出書
- ⑤ 労働保険料等口座振替納付書依頼書（届出印・銀行印）



4月・5月会務日誌

Association Diary

4月

- 1日 第1回理事会開催
- 15日 三重県・三重県教育委員会・三重県歯科医師会・三重県歯科衛生士会公衆衛生各事業打合せ、公衆衛生委員・郡市歯科医師会公衆衛生担当者合同連絡協議会開催（Web）
- 17日 東海信越地区歯科医師会第3回会長・専務理事連絡協議会に大杉会長、辻副会長、服部副会長、稻本専務理事出席（Web）

5月

- 11日 常務理事会開催
- 12日 日本歯科医師会第7回地域保健委員会に羽根副会長出席
- 13日 第2回理事会、監事会、歯科助手講習会開催
産業歯科保健研修会で羽根副会長講演
第69回日本小児保健協会学術集会・第3回プログラム委員会に福森常務理事出席（Web）
- 19日 日本学校歯科医会第2回理事会に福森常務理事出席（Web）
第1回三重県循環器病対策推進協議会に大杉会長出席（Web）
- 20日 歯科助手講習会開催

- 21日 日本歯科医師会第7回産業歯科保健ワーキンググループに羽根副会長出席（Web）
日本学校歯科医会第1回理事会に福森常務理事出席（Web）
- 22日 第1回都市会長会議開催（Web）
- 30日 第9回三重県新型コロナウイルス感染症対策協議会に稻本専務理事出席（Web）

三重県医師会小児在宅医療連絡協議会に羽根副会長出席（Web）

- 三重県学校保健会第1回理事会に羽根副会長出席
- 21日 みえ犯罪被害者総合支援センター第1回定期理事会に桑名理事出席
- 23日 三重NST研究会世話人会・学術集会に大杉会長、福森常務理事出席
- 27日 歯科助手講習会、第1回社会保障委員会開催
- 28日 日本歯科医師会社会保険委員会、第132回都道府県会長会議に大杉会長出席
- 29日 東海口腔衛生学会常任幹事会に羽根副会長、福森常務理事出席（Web）



会員消息

Member's News

本会会員数	(6月1日現在)
正会員第1種（一般）	697名
正会員第2種（勤務）	35名
正会員終身	115名
準会員第3種（法人）	9名
準会員第4種（直属）	2名
長期の疾病等の会員	2名
計	860名
日歯会員数	64,517名
	(4月30日現在)

新入会員



なべしまふみかず
鍋島史一先生 (6. 1付)
診志摩市阿児町鵜方1266-1
鍋島歯科
電話 0599-43-2212
FAX 0599-43-6104
(鳥羽志摩)

診療所所在地変更

前田 彩先生 (津)

津市久居野村町516-6

谷 宣博先生 (松阪)

谷 宣幸先生 (松阪)

松阪市立野町461-5

富嶋 泰先生 (伊賀)

岡田昌之先生 (伊賀)

伊賀市上野農人町385-1

FAX番号変更

大橋隆道先生 (津)

大橋卓史先生 (津)

(診) FAX 059-253-3450

診療所廃止

河野 晟先生 (伊賀)

河野孝行先生 (伊賀)

謹んでおくやみ申し上げます

鍋島莞爾先生 (鳥羽志摩)

去る3月30日、お亡くなりになられました。

享年87歳



新入会員プロフィール

Rookie's Profile

なべしまふみかず
鍋島史一先生（鳥羽志摩）

1. 学歴

高校 三重県立伊勢高等学校
大学 大阪歯科大学（1987年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

1988年4月 大阪歯科大学大学院
1992年4月 若草第二竜間病院歯科
1998年6月 日本医師会総合政策研究機構
（日医総研）
1999年6月 九州大学医学部医療システム
学教室
2003年1月 九州大学医学部医療ネットワ
ーク学教室
2011年10月 福岡県メディカルセンター

3. メッセージ

大阪歯科大学大学院時代には、咬合、顎関

節の研究を軸に補綴臨床を実践し、卒業後、いわゆる老人病院で要介護高齢者の歯科医療を開拓していました。その際にお世話になっていた先生から日本医師会にシンクタンクができるので手伝うよう言われ、日医総研で医療・介護政策の立案・実行・評価を行っていました。その後、九州大学医学部医療システム学教室、医療ネットワーク学教室の創設に関わり、民間病院数件に高齢者歯科医療を充実させるべく歯科を開設させていただき、福岡県メディカルセンターで情報戦略論を中心に政策研究事業を継続していました。

これからは父の後を継ぎ、地域医療に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。

三重県歯科医師会メールマガジンをご登録下さい



三重県歯科医師会では、会員配布物の「E-MAIL配信登録」を行っています。このシステムは登録者ごとに専用のメールアドレスを割り当て、冊子やポスターを除くほとんどの文書をデータ配信するものです。E-MAIL配信登録者には、併せてメールマガジン（メルマガ）も配信されています。メルマガは毎週水曜日に配信され、三重県歯科医師会事業の最新情報や月間スケジュール、ウェブサイトの更新情報、学術関連情報、さらに毎月の歯科関連ニュースをまとめた「News Clip」等をお届けしています。

E-MAIL配信の登録方法は三重県歯公式ウェブサイト会員用ページをご参照いただくか、三重県歯科医師会事務局（TEL：059-227-6488）までお問い合わせ下さい。また、一度登録してもパソコンの買替時等にメールソフトでのアカウントの移行が行われていないとメルマガが配信されなくなる場合があります。もし、メルマガが届かなくなっている場合には、ご使用のパソコンの設定をご確認下さい。



告知板

Information

愛知学院大学歯学部同窓会ポストグラデュエートコース（PGC）

女性企画委員会コラボ講演会のご案内



日 時：2021年9月5日(日) 9時30分～13時

場 所：愛知学院大学楠元学舎基礎教育棟

受講料：WEB受講の方・同窓会会員は事前申し込み（9/2まで）で無料

(同窓会会員以外で会場受講の事前申し込みは2,000円)

*但し、当日申し込みは3,000円徴収いたします。

詳細はホームページをご覧ください。



<前半> 基調講演（状況によってはWEB講演になる可能性があります）

講師：加藤庸子（藤田医科大学 ばんたね病院

脳神経外科 教授）

演題：「女性医師の未来像と現実－神メンタルの作り方－」



<後半> シンポジウム「女性歯科医師の未来像と現実」

さまざまな仕事スタイルで歯科医師として邁進する女性同窓生をシンポジストとし、女性だから抱えるキャリア形成とライフィベントの現実的問題、働き方改革などご自身の問題と希望につながる現状を語り合います。

シンポジスト：上野温子（36回生 高齢者・在宅歯科医療学講座 講師）

「ワーママDr.の仕事と家時間を楽しむための環境づくり」

萩野浩子（28回生 名古屋医療センター歯科口腔外科 常勤歯科医師）

「病院歯科で働くということ」

犬飼順子（本学大学院卒 短期大学部 教授）

「“One Team”を目指して」

○申し込み：PGCホームページで受け付けております。

○ホームページ：www.aichigakuin-pgc.com

愛知学院大学歯学部同窓会PGC事務局（清水）TEL・FAX 052-763-1931



第43回三重県歯科医師会ゴルフ大会開催のご案内

三重県歯科医師会ゴルフクラブ 会長 笠原浩義

盛夏の候、諸先生方におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の大会を9月9日(木)に西日本セブンスリーゴルフクラブ(松阪市)で開催いたします。

昨年は新型コロナウィルスの蔓延により残念ながら見送りましたが、本年は感染防止対策として、ご参加いただく先生方にマスク着用・手指消毒・ソーシャルディスタンスの確保など基本的なお願いをし、密を避けるよう表彰式を取り止め、プレー終了後には散会していただきます。

本年も松茸をふんだんに用意してお待ちしています。ご多忙の折とは存じますが、皆様お誘い合わせのうえ、奮ってご参加下さい。

記

1. 日 時：2021年9月9日(木)午前8時2分 OUT・IN同時スタート

2. 場 所：西日本セブンスリーゴルフクラブ

〒515-2301 三重県松阪市嬉野島田町1242-1 Tel 0598-42-1212

3. 参 加 費：一人 5,000円 *大会当日、コンペ受付で申し受けます。

4. コンペ料金：キャディ付きプレー メンバー 10,650円 ビジター 11,226円
セルフプレー メンバー 7,050円 ビジター 7,626円

*プレー代・限定昼食を含む。

**プロショップ・練習場・アルコール等、追加分には別途料金がかかります。

5. 競技方法：18ホールストロークプレー ダブルペリア方式(同ネット年長者上位)

フロントティ 70歳以上シニアティ、女性レディースティ使用可。

その他、JGA及びローカルルールに準拠。

6. 入 賞：①「ハーフコンペの部」：優勝～15位、飛び賞、シニア賞、レディース賞、ニアピン賞、ドラコン賞、ブービー賞、ブービーメーカー賞、参加賞(松茸)

②「18ホールダブルペリアの部」：優勝・ベストグロス賞

7. 参加資格：三重県歯科医師会会員及び勤務医

8. 締め切り：2021年8月11日(水)までに郡市歯科医師会までお申し込み下さい。

9. 申込先：〒515-3131 三重県津市白山町藤176

カガミ歯科診療所 鏡 忠明

Tel 059-262-3066 Fax 059-262-0257 e-mail : nerituti@gray.plala.or.jp

*詳細は郡市歯科医師会事務局にお問い合わせ下さい。



互助会の現況

Mutual Aid Association

(21年4月1日～30日)

第1部（疾病共済）

入会	6名	退会	0名	累計	709名
収入累計	199,424,383円	繰越 入金		199,424,383円 0円	
支 出	2,500,000円				
残 高	196,924,383円	定期 普通 国債		138,000,000円 58,924,383円 0円	

療養給付：1名

死亡給付：0名

第2部（火災・災害共済）

入会	6名	退会	0名	累計	712名
収入累計	170,675,449円	繰越 入金		170,675,449円 0円	
支 出	0円				
残 高	170,675,449円	定期 普通		110,690,000円 59,985,449円	

災害給付：0名

(21年5月1日～31日)

第1部（疾病共済）

入会	0名	退会	0名	累計	709名
収入累計	196,928,683円	繰越 入金		196,924,383円 4,300円	
支 出	1,800,000円				
残 高	195,128,683円	定期 普通 国債		138,000,000円 57,128,683円 0円	

療養給付：3名

死亡給付：0名

第2部（火災・災害共済）

入会	0名	退会	0名	累計	712名
収入累計	170,675,771円	繰越 入金		170,675,449円 322円	
支 出	0円				
残 高	170,675,771円	定期 普通		110,690,000円 59,985,771円	

災害給付：0名

三重県歯科医師協同組合

購入希望の組合員の方は、当組合宛に
お申し込み下さい。

三重県歯科医師協同組合ホームページ
からオンラインでも購入できます。

歯科経理帳	(12か月分)	970円
収支日計表	(100枚綴)	640円
患者日計表	(100枚綴)	640円
領 収 書	(100枚綴)	480円
その他、保険診療情報提供文書各種等		

国保組合の現況

2021年2月／3月

保険給付状況

21年2月

		件 数	費 用 額	保険者負担額
療 養 給 付 費	当月分	3,518	53,711,618	37,959,345
	累 計	36,672	587,144,436	415,028,954
療 養 費	当月分	99		395,236
	累 計	966		3,613,846
高 額 療 養 費	当月分	39		3,824,002
	累 計	381		44,098,699
高額介護 合算療養費	当月分	—		—
	累 計	1		363
移 送 費	当月分	—		—
	累 計	1		78,467
出産育児 一 時 金	当月分	7		3,360,000
	累 計	56		24,328,000
葬 祭 費	当月分	1		150,000
	累 計	4		550,000
食事療養 標準負担額 減額差額	当月分	—		—
	累 計	—		—
傷 病 手 当 金	当月分	19		866,000
	累 計	172		5,626,000
新型コロナ ウイルス感 染症に係る 傷病手当金	当月分	—		—
	累 計	2		90,324

21年3月

		件 数	費 用 額	保険者負担額
療 養 給 付 費	当月分	3,984	61,766,859	43,481,698
	累 計	40,656	648,911,295	458,510,652
療 養 費	当月分	110		422,271
	累 計	1,076		4,036,117
高 額 療 養 費	当月分	30		3,043,548
	累 計	411		47,142,247
高額介護 合算療養費	当月分	—		—
	累 計	1		363
移 送 費	当月分	—		—
	累 計	1		78,467
出産育児 一 時 金	当月分	4		1,680,000
	累 計	60		26,008,000
葬 祭 費	当月分	—		—
	累 計	4		550,000
食事療養 標準負担額 減額差額	当月分	—		—
	累 計	—		—
傷 病 手 当 金	当月分	17		633,000
	累 計	189		6,259,000
新型コロナ ウイルス感 染症に係る 傷病手当金	当月分	—		—
	累 計	2		90,324

収支状況

20年度21年3月累計

区 分	金 額
歳 入 合 計	1,804,178,819
歳 出 合 計	1,119,898,144
収 支 差 引 残 高	684,280,675

21年度21年4月累計

区 分	金 額
歳 入 合 計	75,188,965
歳 出 合 計	11,020,639
収 支 差 引 残 高	64,168,326

20年度21年4月累計

区 分	金 額
歳 入 合 計	1,810,207,419
歳 出 合 計	1,209,701,675
収 支 差 引 残 高	600,505,744

被保険者異動状況

21年4月30日現在

区 分	被 保 険 者 数	前月との比較
組 合 員	2,886	100
家 族	1,361	△ 22
計	4,247	78

21年5月31日現在

区 分	被 保 険 者 数	前月との比較
組 合 員	2,896	10
家 族	1,357	△ 4
計	4,253	6

編集後記

Editor's Note

2019年に理事を拝命してから2年が過ぎました。就任当時は「新型コロナウイルス感染症」という言葉もなく、現在のような状況になるとは思いもよりませんでした。社会では働き方の変化が促され、オンラインでの情報交換がますます拡大しました。歯科医師会でも対面の事業が中止になる中、Web会議や研修会の配信、LINEを用いた情報発信等を積極的に活用するようになりました。実際に使ってみると、オンラインと対面にはそれぞれ

に利点と欠点があることがよく分かりました。

この春からワクチン接種が開始され、新型コロナウイルス感染症の終息が期待されるようになってきましたが、コロナ前のように対面での事業が可能になった時、会員や県民にとってより分かりやすい情報伝達のため、オンラインと対面、それぞれの長所をどのように活かしていくかが、今後の課題であると考えています。

(理事・加藤直輝 記)

愛知県医療信用組合は、歯科医師のための 「相互扶助」の金融機関です。

昭和37年設立の「歯科医の歯科医による歯科医のための組合」です。

日頃のご愛顧に感謝し 【ローン拡販キャンペーン】 実施中！ 2021年12月30日まで



歯科医師応援ファンド

当初4年間 0.90% (固定)、5年目以降 変動金利
5千万円まで、最長20年 (1千万円以下は10年)

教育ローン<スマート>

1.90%～ 1千万円まで 15年以内
(1千万円超をご希望の場合はご連絡ください)

マイカーローン<クイック>

1.50%～ 1千万円まで 10年以内
(1千万円超をご希望の場合はご連絡ください)

詳細はホームページを
ご参照ください。

愛知県医療信用組合

検索

<https://www.iryoushin.com/>



愛知県医療信用組合

〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目5番18号 愛知県歯科医師会館6階

TEL: (052) 962-9569 FAX: (052) 951-8651



お気軽に
ご照会ください

2021年7月10日印刷/2021年7月15日発行

発行所/〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目120-2 公益社団法人三重県歯科医師会

☎059-227-6488/発行人/大杉和司/編集/広報情報委員会/印刷/矢田印刷所
三重県歯科医師会公式ウェブサイト address <http://www.dental-mie.or.jp/>

歯科医療従事者の皆様へ

gsk

サンプルが簡単に
リクエストできる！

ホント！簡単だ



登録無料

シュミテクト、ポリデント、ポリグリップ等を
推奨していただける先生方をサポートさせていただきます

GSKの歯科医療従事者向けサイト

シュミテクト、ポリデント、ポリグリップ等のGSKオーラルケア製品のサンプルと
歯科医療従事者の皆様に価値ある情報をタイムリーにお届けいたします。
ぜひ会員登録いただきご利用ください。

特長
その

1

いつでもどこでも
サンプルをリクエスト

ご依頼は月1回まで
となります



特長
その

2

スマホからも
アクセス可能

簡単な操作で
リクエスト完了！

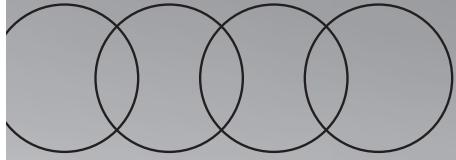


会員登録はこちらから

[gskヘルスパートナー](#)

検索





The all-new Audi A3 Debut

Audi A3 Sportback 30 TFSI	¥3,100,000	Audi A3 Sedan 30 TFSI	¥3,290,000
Audi A3 Sportback 30 TFSI advanced	¥3,460,000	Audi A3 Sedan 30 TFSI advanced	¥3,650,000
Audi A3 Sportback 30 TFSI S line	¥3,890,000	Audi A3 Sedan 30 TFSI S line	¥4,080,000
Audi A3 Sportback 40 TFSI quattro advanced	¥4,400,000	Audi A3 Sedan 40 TFSI quattro advanced	¥4,590,000
Audi A3 Sportback 40 TFSI quattro S line	¥4,830,000	Audi A3 Sedan 40 TFSI quattro S line	¥5,020,000
Audi S3 Sportback	¥6,420,000	Audi S3 Sedan	¥6,610,000

Audi A3 Sportback 30 TFSI advanced / A3 Sedan 30 TFSI S line [オプション装着車] 写真は欧州仕様です。日本仕様と一部異なります。



Q3

Audi Q3 35 TFSI	¥4,380,000
Audi Q3 35 TFSI advanced	¥4,640,000
Audi Q3 35 TFSI S line	¥4,940,000
Audi Q3 35 TDI quattro advanced	¥5,130,000
Audi Q3 35 TDI quattro S line	¥5,430,000
Audi Q3 Sportback 35 TFSI	¥4,520,000
Audi Q3 Sportback 35 TFSI S line	¥4,820,000
Audi Q3 Sportback 35 TDI quattro S line	¥5,160,000
Audi Q3 Sportback 35 TDI quattro S line	¥5,630,000
Audi RS Q3	¥8,380,000
Audi RS Q3 Sportback	¥8,630,000

Audi Q3 Sportback 35 TFSI S line
写真は欧州仕様車となり日本仕様と異なる場合があります。



A6

Audi A6 40 TDI quattro sport	¥7,590,000
Audi A6 45 TFSI quattro sport	¥7,890,000
Audi A6 55 TFSI quattro S line	¥10,450,000
Audi A6 Avant 40 TDI quattro sport	¥7,950,000
Audi A6 Avant 45 TFSI quattro sport	¥8,250,000
Audi A6 Avant 55 TFSI quattro S line	¥10,810,000
Audi S6	¥13,030,000
Audi S6 Avant	¥13,390,000
Audi RS 6 Avant	¥17,640,000

Audi A6 Avant 40 TDI quattro [オプション装着車] 写真は欧州仕様です。日本仕様と一部異なります。

三重県歯科医師会所属の皆さまへのスペシャルオファー
全車種モデルを車両本体価格より5%OFFにてご購入いただけます

・記載内容は2021年7月1日現在のものであり、価格および仕様は予告なく変更される場合があります。・特別限定車など一部対象外もありますので、詳しくは下記店舗にお問い合わせください。
・表示価格は車両本体価格(消費税込み)です。お問い合わせの際は、三重県歯科医師会所属である旨をお知らせください。

Audi正規ディーラー
Audi 三重津
株式会社オートモール
三重県津市雲出本郷町1712-2番地 〒514-0304
TEL(059)253-3555 FAX(059)235-0555



Audi正規ディーラー(Audi Sport店)
Audi 三重四日市
株式会社オートモール
三重県四日市市中村町2284-1 〒512-8044
TEL(059)361-7855 FAX(059)361-7866



掲載の写真は全て欧州仕様です。日本仕様と異なります。日本仕様は右ハンドルとなります。

The new Golf

車両本体価格(税込)	
Golf e TSI Active Basic	¥ 2,916,000
Golf e TSI Active	¥ 3,125,000
Golf e TSI Style	¥ 3,705,000
Golf e TSI R-Line	¥ 3,755,000

Photo: eTSI R-Line
※ボディカラー:ライムイエローメタリック *有償オプションカラー:¥33,000(税込) ※写真は一部実際と異なる場合があります。※機能・装備はグレードにより異なります。

やっと会えたね。新しいゴルフ。
The new Golf 6.15 DEBUT!

2021

フォルクスワーゲン正規ディーラー Volkswagen 鈴鹿 × Volkswagen 四日市

サンクスフェア Thanks fair

NEW LINEUP! 新型Tiguan・新型Passatシリーズも好評商談受付中

医療関係の皆様へ
感謝の気持ちのギフト
掲載の新車3種のいずれかを
7月末までにご契約いただくと
下記の特別ご購入サポート20万円分に加えて

さらに
**5万円分の
オプションプレゼント!**
ご商談開始時に本広告をご覧いただいた
旨をスタッフにお伝えください。

The new Tiguan 登場。

The new Tiguan 登場。

Tiguan TSI R-Line 車両本体価格 5.039,000円(税込)

Photo: Tiguan TSI R-Line
"DCC"パッケージ:¥ 220,000(税込)
レザーシートパッケージ:¥ 319,000(税込)
ナイトシエードブルーメタリック

The new Passat Variant

The new Passat Variant TDI R-Line 車両本体価格 5.849,000円(税込)

Photo: Passat Variant TDI R-Line
オリックス手机版
マザーオブパールエフェクト
*有償オプションカラ:-:
132,000円(税込)

三重県
歯科医師会
所属の
皆さんへ

会員様にお使いいただける特別ご購入サポート**20万円分**プレゼント。

●表示価格は、2021年7月1日現在の車両本体価格(消費税込み)です。オプション装着価格、付属品価格、保険料、税金(消費税を除く)、登録に伴う諸費用、リサイクル料金は含まれておりません。別途必要となります。販売価格は正規ディーラーが独自に定めておりますので、お問い合わせください。●本価格は予告なく変更する場合があります。※他のキャンペーンとの併用はできません※写真は一部実際と異なる場合があります。※特別限定車など一部対象外もありますので、詳しくは下記店舗にお問い合わせください。※お問い合わせの際は、三重県歯科医師会所属である旨をお知らせください。

フォルクスワーゲン正規ディーラー
Volkswagen 鈴鹿

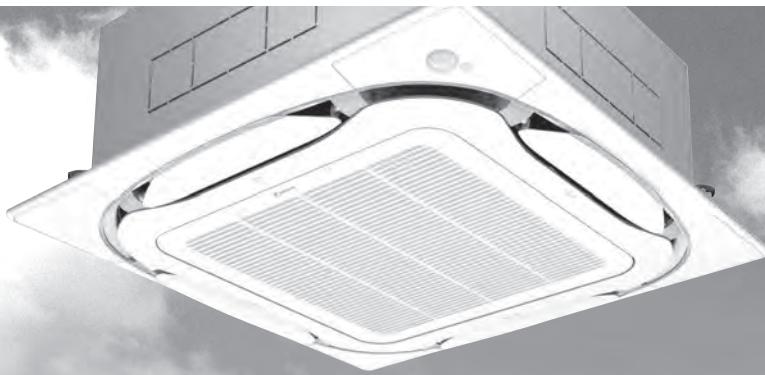
株式会社オートモール TEL(059)-370-5588
営業時間 10:00~19:00 定休日:水曜日



フォルクスワーゲン正規ディーラー
Volkswagen 四日市

株式会社オートモール TEL(059)-361-1655
営業時間 10:00~19:00 定休日:水曜日





省エネ空調

まごころ込めて、快適な節電計画のご提案

風当たり・温度ムラなど感覚的な寒暖差をサーモグラフィーで可視化。
創業75年の豊かな実績と技術力を活かし、
使用環境にあわせた効率的なプランをご提案いたします。
空調のプロとして、私たちはお客様と共に歩み続けていきます。
省エネルギーな社会を一步前へ!

おかげさまで、
ダイキンFIVE STAR ZEAS販売台数
11年連続全国1位

今年
18年目を
迎える 10年保証

DAIKIN ダイキン工業特工店

創業75年の信頼と実績。
店舗・オフィスエアコン専門店

東3冷凍機株式会社

本 社 453-0013名古屋市中村区亀島2-12-12

東京支店 106-0044東京都港区東麻布1-4-2-602

岐阜支店 500-8842岐阜県岐阜市金町4-30-802

三重支店 510-0075三重県四日市市安島2-10-16-8G

横浜支店 220-0004神奈川県横浜市西区北幸2-8-19-4F

神戸支店 650-0024兵庫県神戸市中央区海岸通4

東京西Sta 177-0054 東京都練馬区立野町38-39-1F

お問い合わせは今すぐお電話で!年中無休AM9:00~PM6:00

見積 無料 **0120-130-047**

www.tousanreitouki.com

地球温暖化を考える東3冷凍機の取り組みを応援してくれています。

ZIP-FM 77.8 ON AIR



2019年
C.W.ニコルさん



2018年
イルカさん



2017年
加藤登紀子さん



2016年
渡辺徹さん



2015年
渡部陽一さん



2013年
下条アトムさん

お客様の声



動画



損保ジャパン

SOMPO 保険の先へ、挑む。

「安心でいたい」

「安全でいたい」

「健康でいたい」

それはきっと、誰もが抱く切なる願い。

そして私たちの願いは、

人々の普遍の想いに寄りそう、

パートナーであり続けること。

変化の先を常に予想し

捉えることは、私たちの使命。

「最高品質のサービス」で、

すべての人にお応えします。

保険の先へ、挑む。

損害保険ジャパン株式会社 三重支店 津支社 〒514-0004 三重県津市栄町 3-115 Tel:059-226-3011 <https://www.sompo-japan.co.jp/>

会員好評受付中!

mint

三重イフターネットサービス

**ブロードバンドが未来をひらく!
mintはインターネットをトータルにサポートします。**

<http://www.mint.or.jp/>

お問い合わせは

MDT 三重データ通信株式会社

TEL : 059-223-1818

E-Mail : mint@mint.or.jp



Thinking ahead. Focused on life.

Spaceline ST

歯科診療をより良くするために、自然な姿勢で、正確かつ短時間で診療を行えないか。“人が中心”というスペースラインコンセプトをそのままに、診療をより効率的にするための新たな機能が組み込まれた Spaceline ST の誕生です。



発売：株式会社 モリタ 大阪本社：大阪府吹田市重水町3-33-18 T 06-6380 2525 東京本社：東京都台東区上野2-11-15 T 03-3834 6161
製造販売：株式会社 モリタ製作所 京都市伏見区東浜南町680 T 075-611-2141 営取工場：島根県出雲市谷609 T 080-0954 10858 24 0005
販売名：スペースライン 一般的名称：歯科用ユニット 機器の分類：管理医療機器（クラスII）特定保守管理医療機器 医療機器承認番号：228ACBZX00018000
詳細な製品情報につきましては、こちらを参照ください。 www.dental-plaza.com

お客様相談センター 歯科医療従事者様専用 T 0800.222.8020 フリーコール

詳しくは検索、またはQRコードから
スペースライン ST

